

竹原 正人 議員（代表質問）

1 災害に対する備えについて

- (1) 10年に1度と言われる寒波により、本年1月24日深夜から連日氷点下の日が続き、市内各所で凍結による水道管の破裂や漏水があった。結果1月28日午後10時から翌朝6時頃まで計画断水が行われたが、原因の把握と再発防止に向けた取組をどのように考えているのか。
- (2) 市内の被害状況についてどこまで把握しているのか。公共施設等も含めて漏水等の確認はどのように行い、対応していたのか。
- (3) 今回は、横道貯水池の水位低下によるものであったが、今後もこのような事態になったとしても市民の皆様安心していただけるよう、応急的な給水所を数多く設置できるよう取組が必要ではないか。
- (4) 新年度予算では給水車の購入が盛り込まれている。一部マスコミでは、今回の計画断水を受けて給水車の導入と報道されていたが、元々の購入を決断するに至った理由、給水車導入後の活用の仕方、車両の管理方法について、どのように考えているのか見解を伺う。

2 子育て支援について

- (1) 今定例会で、第1子の保育料を0歳児から半額にするとなっているが、どのような理由からなのか。
- (2) 子どもを保育施設に預ければ補助していただけるが、家庭で保育している場合は何の補助も無い。不公平であると考えますが、見解と今後の対応を伺う。
- (3) 本市の子育て支援策を検証したうえで、今後、出生数が増えないとなると、更なる支援策をどう考えていくのか。

3 市制70周年事業について

- (1) 数多くの事業が市制70周年枠として予算化されているが、元々の継続事業でも幾つか70周年の冠がついている。次年度以降の事業精査はどの

ように考えているのか。

- (2) ふるさと龍宮まつりは開催補助金を200万円上積みして開催される予定となっているが、どれだけのグレードアップを図るのか見解を伺う。
- (3) ふるさと龍宮まつり海上花火大会は多くの見物客で賑わうイベントであるが、市制70周年を契機に、個人のふるさと納税、法人の企業版ふるさと納税に協賛メニューを加えPRすべきと考えるが、見解を伺う。

4 電気代高騰に対する対応について

- ・ 市が管理する施設等において、原油価格高騰による電気代の予算が大幅に増額されている。通年使用ベースで積算された数字かもしれないが、節電する努力が取組として説明されていない。予算確保のための増額なのか。今年度は補正予算で足りない分を補ってきたが、今後の対応を伺う。

5 空き家対策について

- (1) 今定例会で、管理が行き届かない空き家の解体を促進するため、解体後の土地の固定資産税を減免する制度を新たに設けるが、期限付きの事業である。この事業で空き家の除却が進むと考えているのか。
- (2) 仮に、減免制度を設けたにも関わらず、当局が想定していた除却件数に達しなかった場合、更なる対応策を考えているのか見解を伺う。

中川 勲 議員（代表質問）

1 水野市長就任以来、初めてとなる本格予算について

- (1) 「強く優しく輝く滑川」の実現に向けた予算編成に努めたとのことだが、一番大事にしたのは何か。
- (2) 「子育て応援宣言」を掲げ、新たに第1子保育料を半額にするとのことであるが、無料にできなかったのか。
- (3) デジタル技術を活用して滑川版スマートシティの実現とあるが、具体的な目標は何か。高齢者への対応は。
- (4) 道路交通網については、県道関係の歩道整備は進められているが、地域の子どもたちが、毎日通る道路において歩道整備が進んでいないが。
- (5) 市制施行70周年を祝して各種記念事業を実施するとのことであるが、具体的な実施計画はいつ頃発表されるのか。

2 計画断水について

- (1) 水位低下の一番の原因は何か。
- (2) 計画断水することは市民に理解されていたか。
- (3) 今後の反省点はあるのか。
- (4) 水道スマートメーターが他市で使用されているとのことだが、計画はないのか。

3 スポーツと健康について

- (1) 中学校の運動部活動の地域移行は進んでいるのか。
- (2) 本丸球場のスコアボードの改修で、フルカラーLEDの大画面スコアボードとなるが、完成に合わせて記念事業はあるのか。

(3) 高齢者のスポーツ振興について

ア 運動公園にパークゴルフのコースを増設できないか。

イ 総合体育館でウォーキングする高齢者の利用料金を無料にできないのか。

4 電気料金・物価等の高騰に対する考えは

(1) 市民への対応を何か検討されているのか。

(2) 電気料金が高くなるとのこと、滑川市が保有している街灯・庁舎内の照明器具を全てLED化すべきと思うが。

5 ヤングケアラーについて

- ・ 市内の状況を把握し、対策はできているのか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 教育について

- (1) 当初よりいろいろな指摘があった土曜授業であったが、本年度4月より廃止となった。昨年このことについてアンケートを実施したと聞く。その結果はどうであったか問う。
- (2) 「科学・理数・ものづくり教育推進事業」について
 - ア その目的は。
 - イ 特に受験がある中学生には負担が大きいのではないか。
 - ウ 多様性の時代、個性を伸ばす教育が大事なのではないか。
 - エ 補助事業なのですぐにはやめられないとのこと。いつまでなのか。
- (3) 先日、埼玉県の中学校で、期末試験中に教室へ不審者が侵入し教員が切りつけられるという事件が発生した。それを踏まえて滑川市の学校の防犯体制について問う。
 - ア 学校の敷地内、校舎内への侵入阻止は大丈夫か。
 - イ 防犯のマニュアルは常に確認・共有されているか。
 - ウ 防犯用具はそろっているか。

2 滑川市の医療について

- (1) 新型コロナ感染症について
3月13日よりマスク着用が個人の判断に委ねられ、5月8日よりコロナの感染症法上の位置付けが2類から5類に移行するとのことである。何がどう変わるのか改めて聞きたい。
- (2) 高校生等医療費無料化について
 - ア 今年度の対象人数はどの程度か。
 - イ 高校に進学しない生徒もいる。どの範囲まで対象としているのか。

3 滑川の観光について

- (1) 富山湾に春を告げるホタルイカ漁が始まり、いよいよ滑川市が一番活気付く時期である。今シーズンは2隻体制で「ほたるいか海上観光」がスタートするが、それを踏まえて問う。

- ア 予約状況はどうか。
- イ 外国からの予約はあるか。
- ウ コロナ感染症の状況は落ち着いてきているが、感染症対策は以前と同様か。
- エ 天候不順で中止した時の対策は。

- (2) 富山湾岸クルージングは、冬場は休業しているが、富山湾から見る冬の立山連峰もすばらしいと聞く。冬のクルージングも価値があると思うが所見を聞きたい。

4 環境整備について

- (1) 木々が多い東部小学校や田中小学校については定期的な間引きか伐採を行ない、環境の改善を図るべきと考えるが所見を聞きたい。
- (2) あいの風とやま鉄道の東滑川駅駐輪場には、置き去りの自転車が散見され、青空駐輪も多い。新年度から新しくここを利用される皆さんが利用しやすいように整理整頓し、屋根付きの駐輪場を一棟増設すればどうかと考えるが所見を問う。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 富山湾・黒部峡谷・越中にい、かわ観光圏について

- 平成20年に制定された「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」（観光圏整備法）（平成30年3月30日改正）に基づき、各種法律の特例等により「観光圏」の形成を支援し、国際競争力の高い魅力ある観光づくりを推進しようと国により観光圏の整備がされたことから、平成26年の北陸新幹線の長野から金沢までの延伸予定や新駅開業予定等を含め、観光振興を強化し、観光旅客の来訪・滞在の促進を図るための指針として、法第4条の規定に基づく観光整備計画が新川地域の3市2町と富山県により、計画期間を平成21年から平成26年3月までとして策定されていた。本市は平成27年に観光圏協議会から脱退しているが、令和5年度、観光行政推進事業費として再度加盟する経費が200万円計上されている。

当観光圏協議会は、平成26年の整備計画終了後、加盟している各地方自治体は整備計画を策定し協議会として、観光圏実施計画を策定し国土交通大臣へ認定申請を提出した実績があるのか。または、認定を受けて国の特例による総合的支援による事業計画を予定しているか問う。

2 市内学校プールについて

- (1) 公共施設等の老朽化を見据え、財政負担の軽減や平準化を目的とし、予防保全を基本とする管理計画に掲げる公共施設マネジメントを推進していくため、令和2年に策定された「滑川市個別施設計画」において個別施設ごとの具体的な対応方針が示された。しかし、学校教育系施設では各学校が保有するプール施設の機能評価及び簡易劣化診断が未実施である。

校舎や体育館等の予防保全を最重要とされていることが考えられるが、現在の状況について問う。

- (2) 今後の整備、方針について問う。

3 行政代執行後の費用徴収について

- 「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成27年に施行され、全

国の自治体に、空き家への立入調査や指導、勧告、撤去命令、行政代執行等の権限が与えられた。

施行以来、各自治体において代執行や略式代執行が実施され、令和5年度滑川市予算案においても実施計画の見込みをたてている。しかし、費用回収の見込みが低いことや「最終的に自治体に対応してくれる」というモラルハザード等の課題がある。

本市においても所有者に対し改善要求や必要な手続きを行い催促したが、所有者が従わなかったため令和2年度、行政代執行が実施された。

戒告等の手続及び費用の徴収は、行政代執行法3条～6条に基づき行うこととなっているが、実施された代執行後の進捗について問う。

4 ひとり親世帯について

- (1) 厚生労働省の「2019年国民生活基礎調査」では、子どもの貧困率（17歳以下）は13.5%であり、約7人に1人の子どもが貧困状態だとされている。

国ではOECD（経済協力開発機構）の基準に基づき、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除く手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分（2018年の貧困線は127万円）の額を貧困線とし、それを下回る者を相対的貧困の定義としている。同調査では、ひとり親世帯の貧困率は、48.3%であり、OECDデータの42か国中3番目に高い貧困率と報告された。

しかし、日々生活を送る中で、ボロボロの服を着る子どもや路上生活するなどのような貧困を想像する光景を目にすることはないが、そのような絶対的貧困に比べて相対的貧困は外部から見えづらく必要な支援が届けづらいとされる。

また、経済格差が教育格差につながることも各調査において明らかとされ、貧困の連鎖も懸念される。各施策を実施するにあたり、実態を正確に把握する必要があると考える。

本市のひとり親世帯や子どもの状況に係る貧困について見解を問う。

- (2) 「ひとり親家庭等緊急生活資金貸付金」は、貸付により、経済的に不安定なひとり親家庭の生活の安定を図ることを目的に実施されるものである。昭和50年から続く支援制度であるが、貸付要件である1世帯10万円以内や貸付期間の6カ月以内等の条件設定の根拠を問う。また、平成28年に2件の貸付を行って以降、実績はないがこの制度の必要性を問う。
- (3) 厚生労働省による「2016年度全国ひとり親世帯等調査」の結果では、日本全国の世帯数のうち、母子世帯が123.2万世帯、父子世帯は18.7万世帯であり、母子世帯が圧倒的に多いとされ、「養育費を現在も受けている

母子世帯の割合」は24.3%と少なく、「過去に受けたことがある」が15.5%、「受けたことがない」が56%と、71.5%が現在受給していない。原因の一つとして「離婚時に養育費の取り決めをしていない割合」が54.2%であり、離婚後の生活を下支えする養育費の確保が十分になされていないことが、ひとり親世帯の貧困・子どもの貧困に影響すると報告された。

内閣府においても養育費の確保に関する取組状況を報告しており、令和4年12月22日開催の規制改革推進会議において法務省は、令和5年の通常国会における法案提出を目途に速やかに民事基本法制の見直しに関する検討を進めるとし、内閣府、法務省及び厚生労働省は、ひとり親が養育費を確保するための方策（民事基本法制の見直しに関するものを除く）の充実に向けた検討に連携して取り組み、一定の結論を得るとした。

この問題に対し、国が動き出すよりも前に養育費の立替えや確保の支援に向けて取り組む兵庫県明石市や大阪市、滋賀県湖南市などの地方自治体もあるが、本市の養育費受給状況、また確保・支援に関する問題意識や取組に関する見解を問う。

水橋 真治 議員（一般質問）

1 滑川市のDX推進の実現に向けて

- (1) DX推進計画（素案）について
DX懇話会等において意見を聞き、検討を重ねてでき上がったDX推進計画（素案）に対して、市民の皆さんからどのような意見が寄せられたのか伺う。
- (2) 滑川市のDX重点施策について
「①市民のDX、②まちづくりのDX、③市役所のDXに取り組んでいく」とあるが、それぞれどのような施策であるのか伺う。

2 新型コロナウイルス感染症の5類移行後の学校教育について

- (1) 5月8日に、新型コロナの感染症法上の位置付けが2類相当から季節性インフルエンザ等と同じ5類に移行される予定であるが、各小中学校の児童・生徒の学校生活において、密閉、密集、密接の回避や手洗い、アルコール消毒等のコロナ対策をどのようにするのか伺う。
- (2) 5月8日以降の児童・生徒への指導・支援によって、児童・生徒の学校生活にどのような影響が出ると予想されるのか伺う。

3 交通安全について

- (1) 自転車安全利用5則について
道路交通法の一部改正により、4月1日から自転車に乗る人は、乗車用ヘルメットを着用することが努力義務化される。市民の皆さんにどの程度周知されているのか伺う。
- (2) 横断歩道は歩行者優先について
歩行者が横断歩道を渡ろうとしている時に、車の運転手は止まらなければならないが、止まらない運転手もいる。横断歩道は歩行者優先であり、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいた場合は止まらなければならないことを市民に啓発することはできないか伺う。

吉森 真人 議員（一般質問）

1 D X 推進について

- (1) 滑川市D X懇話会の概要及び構成メンバーを問う。
- (2) 滑川市D X懇話会の内容について問う。
- (3) 滑川市D X推進計画（素案）について
 - ア 推進計画はいつまでに策定されるのかを問う。
 - イ 1月末頃にパブリックコメントを募るとあったが、どのような内容、意見があったのかを問う。
- (4) 令和5年度当初予算におけるデジタル専門人材派遣にかかる経費1,000万円について
 - ア 株式会社フォーバルとはどのような企業なのか。
 - イ 専門人材の業務及び期間はどのようなものか。
 - ウ この予算におけるK P Iについて問う。
- (5) 住民票の写し及び印鑑証明書のコンビニエンスストアでの交付開始について
 - ア 市民の反応はどうか、周知徹底はできているか。
 - イ 開始後のコンビニ利用数及び窓口件数の昨年対比について問う。
- (6) マイナンバーカードについて
 - ア 本市の取得率はどうなったか。
 - イ 2月末の混雑時の対応に問題はなかったか。
 - ウ 5年経過した電子証明の更新案内は、市としてどのように行っているのか。

2 滑川版SDG s について

- (1) SDG s 未来都市の選定に向けた進捗具合を問う。
- (2) 令和5年度当初予算におけるSDG s 関連の内容について問う。
- (3) 全ての事業の書類や告知書類などにSDG s の開発目標の番号を表示し、市職員にも市民にも意識づけしやすくすることとしたらどうか。

3 ICT教育について

- (1) 大学生が行う「オンラインなめりかわ塾」の開催について
 - ア 経緯及び概要について問う。
 - イ 実施スケジュール及びKPIについて問う。
- (2) 家庭とオンラインでつなぎ、顔を見ながら健康観察等コミュニケーションを図るとあるが、実際にどのようなときに行っているのか。
- (3) 長期休業期間にも先生と児童生徒をオンラインで結び、健康観察や勉強の進み具合などの確認を行ない、コミュニケーションを図る時間を設けたらどうか。
- (4) 市内にも子どもたちにプログラミングを教える場が若干ではあるが増えている。そのようなところと連携して、プログラミングのコンテストや大会を開催したらどうか。
- (5) デジタル化やICT教育に対応できる教員の育成はどのように行っているのか。また、計画及び方針等はあるのか。

4 『すべらない街 滑川市』について

- (1) このキャッチコピーに至った経緯及び理由を問う。
- (2) 今後の更なる活用について具体的な案を問う。

谷崎 潤一 議員（一般質問）

1 滑川市版SDGs推進事業について

- (1) SDGsの17のゴールのうち、目標7（エネルギー）の取組について、滑川市は今後どのようにしていくのか伺う。
- (2) 滑川市では今後、脱炭素社会の実現に向けてどのような取組を進めていくのか伺う。
- (3) 滑川市では今後、ゼロカーボンシティ宣言をする予定があるのか伺う。

2 滑川市における防災対策推進について

- ・ 指定避難場所・施設等の老朽化や不具合、避難経路の状況などはどの程度把握しているのか伺う。

3 滑川市における地域おこし協力隊事業について

- ・ 令和5年度の予算に計上されているが、人選・活用方法は決まっているのか伺う。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 学力向上について

- (1) 「読解力向上研究推進事業費」については、事業名を変更したが何がどう変わるのか。
- (2) 「本とのふれあい推進事業費」の県図書館協会ナビゲーション事業「オマールえびの絵本×大道芸ライブ」についてどのように広報周知をするのか、また詳細はどうか。

2 市民サービス向上について

- (1) 公開型GISによる情報公開及び町内会運営アプリ「結ネット」について、導入の内容とスケジュールはどうか。
- (2) 窓口業務について、市職員の接遇態度やマナーはどのように考えているか。
- (3) 「強く優しく輝く滑川」の実現のために、組織機構再編案では新たに体制を3部制から4部制に変更する。一番の目的は。

3 市の財政状況について

- (1) 令和3年度決算に基づく財務諸表について、平成27年度から29年度までの3年間をかけて統一的な基準による財務諸表を作成した。これは連結の範囲が全て算入されたと判断しているが、間違いはないか。
- (2) (1)に基づいて現在の貸借対照表について財政課長としてどのように考えているか。
- (3) (2)の答弁について市長はどのように考えるか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 子育て支援について

- (1) 市長提案理由説明の中で「積極的に子育てに携わる取組を実践されている企業を表彰する」とあるが、具体的にどのような取組について表彰するのか。また、何社が対象となるのか。
- (2) 市役所での男性の育児休業等の取得はどのような状況にあるのか。
- (3) 地域の中で働きやすい、育てやすい環境をしっかりと確保するためには、育児休暇の期間の考え方がとても重要であると考えている。女性が育児休業等を十分に取得できるように、市として何らかの支援をするなど考えられないか。
- (4) 保育士不足に対応して、保育施設への補助制度充実が急務である。保育士だけでなく、食事やお昼寝時の世話など保育を補助する施設サポーターが必要だと思う。滑川市独自の支援策の取組はどうか。
- (5) 地域における子育て支援の拠点である保育施設は、子育て世代のニーズに幅広くかつ柔軟に対応するため、利活用を図り運営するべきであると考えている。例えば、保育施設の給食調理場を活用して、働く若い両親のため、夕食のおかずの提供サービスをしてはどうかと考える。その場合、どのような課題があるか。異次元の子育て、滑川市から。
- (6) 滑川市が市独自の施策をもって子育てを応援する必要があると思う。『孫・育休をとるまち』まずは、滑川市役所からどうか。
- (7) 「新生活にかかる引っ越し費用などの支援」とあるが、どのような条件があるのか。また全面支援なのか、一部補助なのか、具体的な内容は。
- (8) 「子育て世帯訪問支援事業」とあるが、特定妊婦やヤングケアラーに限らず、双子や三つ子を育てている家庭にも、幼児期だけでも支援はできないか。
- (9) 水野市長の提案理由説明に「『子育て応援宣言』を掲げる」とあるが、もっとアピールするために、看板の設置や、既設看板への追記（子育てのまち滑川）など市内外へPRをして表明してはどうか。

2 健康について

- (1) がん患者補正具購入費助成事業については、非対面で相談できるようにお願いしたいがどうか。
- (2) 補正具の取り替えも適用となるのか、何度まで支給は可能か。

3 公共トイレについて

- (1) 公共トイレの洋式化を推進する考えはないか。学校だけは教育的考えで、和式トイレが設置されていると聞いているが、古い公園なども和式トイレのままになっている。災害時にはお年寄り等に優しくないのではないかと考えるがどうか。
- (2) 洋式トイレにヒーターがないものもあるが、冬場を考えれば、1か所ずつでも改修していく計画はできないのか伺う。
- (3) 今定例会の説明の中で、博物館のトイレを改修すると説明があったが、どの程度の改修か。和式トイレはどのように考えているのか伺う。

4 みのお温泉について

- (1) 市内唯一の温泉として、市内外の皆さんに愛されている温泉浴場と位置づけられている施設だが、現在の状況と利用人数はどうなっているか。温泉が出ていないが、利用度は低下しているのかどうか伺う。
- (2) 市民の方から、温泉の早い復活を願う声もたくさん聞いている。今後の予定として具体的な計画はあるのか伺う。
- (3) 4月からの利用料金はどうなるのか。また回数券の取扱いをどうするのか。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 1月の計画断水について

- (1) 住民への周知は徹底できたか。
- (2) 災害時の広報に活かすことはないか。
- (3) 今回の経験から教訓とすべきことは何か。

2 就学援助について

- ・ 昨年9月の決算特別委員会で、対象となる所得基準を見直す答弁があったと認識している。
- (1) 制度が保護者に分かりやすく伝わっているか。どのように周知しているのか。また、市のホームページに説明はあるか。
 - (2) 対象となる所得基準の目安などを例示しているか。

3 学校給食について

- (1) 「学校給食への有機野菜の導入を検討」と市長の「30の政策」の中にある。方向性は見えてきたか。課題と解決策は。
- (2) 米についてはどう考えているのか。全国的に有機米の使用が増えているとされる。課題と解決策は。
- (3) 輸入に多くを依存する小麦の高騰で、立山町では米粉を利用するとの報道があった。本市は検討しないのか。
- (4) 給食費無償化を検討する考えはないか。

安達 真隆 議員（一般質問）

1 公共施設等の利用料収入について

- (1) 各施設等の利用状況及び収支はどうなっているか。
 - ア あいらぶ湯について
 - イ コミュニティバスについて
 - ウ 火葬場について
- (2) 燃料価格が高騰しているが利用料金は適正と考えているか。

2 市職員の服装について

- (1) 職員の服装は市民に分かりやすいような工夫が必要ではないか。
- (2) 市制 70 周年に向けてロゴマーク入りのユニホームなどを製作してはどうか。

3 地域公共交通の発展について

- (1) 今定例会の予算に小型バス導入経費が計上されているが、導入に至った経緯について問う。
- (2) 今回のコミュニティバスの小型化により、デマンド交通も導入するのか。
- (3) コミュニティバスのラッピングについて問う。

4 学校 I C T 環境整備について

- (1) 欠席・遅刻届出システムの運用はいつから始まるのか。
- (2) (1)について具体的な運用案は決まっているのか。

高川 正樹 議員（一般質問）

1 市民の安心・安全について

- (1) 市庁舎や公共施設のAED設置状況について伺う。
- (2) 市職員や指定管理を受けている施設の職員のAED講習受講者の割合はどのくらいか伺う。
- (3) 市庁舎や公共施設でAEDを使用した実績はどのくらいあるか伺う。

2 犯罪被害者等支援特化条例の制定について

- (1) 条例の制定に向けて、当局の見解を伺う。
- (2) 条例制定に向けたスケジュールについて伺う。
- (3) 研修会等の開催予定について伺う。
- (4) 交通事故を含めた刑法犯罪の被害者を出さない。万が一被害者が出たときの支援、援助が充実してこそ、安心・安全のまちづくりであると考えるが、改めて見解を伺う。

3 みのお温泉の今後の運営について

- (1) みのお温泉の現在の状況について伺う。
- (2) これまでの対応について伺う。
- (3) 早月川温泉開発株式会社との協議の推移について伺う。
- (4) 温泉井戸の修繕に関する経費の概要について伺う。
- (5) みのお温泉の現状について、市民や利用者にはしっかりと説明する責任があると思うが、見解について伺う。

4 燃料購入助成券について

- (1) 今回の燃料購入助成券には様々な意見があったと思うが、当局はどのように考えているか。
- (2) 今後、再度燃料購入助成券を配付する考えはあるか。
- (3) 今回のような用途が限られた助成政策について、過去には市独自の飲食店に限定した助成券を発行したこともある。アフターコロナへの政策として、そのような助成券の発行をすることはできないか。

5 空き地空き家対策について

- ・ 空き地空き家対策については、新年度においても助成制度が強化されるほか、これまでも様々な政策が行われてきた。これまで行ってきた成果や手応えについて伺う。

原 明 議員（一般質問）

1 安心、安全について

- (1) 滑川市の自主防災組織率はどうなっているか。
- (2) 防災活動のリーダーとなる防災士の資格取得者数と活動状況について
- (3) 防災士の資格取得経費の全額助成が計上されているが、何人分の計上か。滑川防災士連絡協議会の活動への助成金と自主防災組織との連携について。

2 ゼロカーボンに向けて

- (1) 滑川市のゼロカーボンシティ宣言は、いつ頃となるか。
- (2) EV（電気自動車）の急速充電スポットの整備推進について
- (3) 令和5年度EVの導入を図るべきと考えるがどうか。

3 観光船の安全について

- (1) 「ほたるいか海上観光」の運航船「若潮」、「キラリン」の安全点検は万全か。
- (2) 「救命いかだ」、「救命浮器」の搭載は義務づけられていないのか。

4 公共施設のあり方について

- (1) 文化ホール建設についての方針決定はいつまでと考えているか。
- (2) みのわ温泉テニス村の管理運営方針の検討と整備状況について

5 伝統芸能の伝承について

- (1) 伝統芸能を伝承している団体数と、育成について
- (2) 後継者の育成をどのように考えているか。